

## 狭山の元気 発見

# 躍

いきいき狭山人  
びと

# スペシャルオリンピックスを知ってもらいたい 多くの方に参加してもらいたい

アジアで初めて開催される知的発達障害のある人たちのスポーツの祭典、スペシャルオリンピックス冬季世界大会が2月26日から長野県で行われます。この記念すべき大会のアルペン競技に日本代表として狭山台在住の矢沢啓之さんが出場します。

小さいころから外へ出るのが好きで、活発な子どもだった啓之さんが、スキーをはじめめたのは中学1年生のとき。障害のことがあり団体のスキースクールでなく個人レッスンで、リフトの乗り方から指導を受けました。それから毎年スキーに行くようになり、腕前も徐々に上達していききました。

転機は、中央公民館のあけぼの教室のスキーに参加して4年めのとき、ボランティアの方からスペシャルオリンピックスのスキープログラムに参加を勧められ、初めてアルペン競技を経験しました。そ

して昨年2月、全国大会・日本ナショナルゲームに、初めてのエントリで見事優勝。競技スキーがもつと身近なものになりました。

知的発達障害のある人たちに、年間を通じてさまざまなスポーツトレーニングとその成果の発表の場を提供しているスポーツ組織、スペシャルオリンピックスの競技はスピードを競うだけではありません。せん。参加した人たちが、それぞれの目標を持って練習してきた成果が発表できるよう、予選のタイムや年齢などを参考にして、初級・中級・上級の中でレベルに分かれて競います。

「スキーを始めたことで、交流の輪が一度広がってきました。世界大会には開会の一週間前からさまざまな交流の場が用意されています。この大会に参加することで、さらに成長する息子の姿を見るのが

今から楽しみです」と父・啓一さんは、話してくれます。大会出場が決まって練習でもタイムを計るようになった啓之さん。1回目、2回めと滑ることになるとタイムがよくなり、金メダルの期待も大きく膨らみます。

また、冬季世界大会の開催に先駆け全国で練り上げられるトーチラン（聖火リレー）が、1月15日に市内でも行われます。知的発達障害のある人たちと伴走者、ボランティア約100名が人間川のサイクリングロードを走り、その第一走者として啓之さんがトーチをつなぎます。大きな目標に向かって進む姿に、皆さんぜひ、声援を送ってください。



ひろ ゆき  
矢沢啓之さん

スペシャルオリンピックス冬季世界大会  
アルペン競技日本代表



大好きな家族と自分のために  
練習の成果を100%発揮して  
冬季世界大会で金メダルを狙いたい

# オピニオン 声

皆さんの「声」をお寄せください。

## 箸や鉛筆の持ち方は「しつけ」の基本 小さいころから教えることが大切



このころテレビを見ていて思うのですが、箸や鉛筆の持ち方がおかしい若い人たちの多いことに驚きます。私が古い人間だからかもしれませんが、ちょっと気に掛かっています。

私が小さいころは、食事のときに、箸の持ち方はもちろんのこと、自然の恵みや食材を作った農家の方、料理を作ってくれた人など、食べ物にかかわったすべての人や物に感謝の心を持つように教えられたことを今でも覚えています。また、あいさつのしかたや鉛筆の持ち方などは、家族だけでなく、近所の人たちも注意してくれたものです。

そこで提案です。小学校や中学校の教育の一環として正しい作法の指導をしてみたいかがでしょうか。小さいなこともかも知れませんが、いくつ個性を生かす時代であって

も、私には大切なことだと思えてなりません。ぜひお願いします。

■大場 綾さん 祇園在住(65歳)

### 市の考え方

貴重なご意見をいただきありがとうございます。ご提案の中にあるように、日本人が生まれて一番最初に「しつけ」というものを経験するのが、箸の持ち方だと思っています。正しい箸や鉛筆の持ち方が、ご飯を食べたり、字を書いたりする際に合理的な使い方であることは、親から引き継がれてきた日本の文化です。しかし残念なことに、親の中にも正しい使い方ができない人が増えているのも事実です。洋式の食事やコンピューターなどの普及によって、箸や鉛筆を持つ機会が減ってきたことも要因の一つだと考えられます。

現在、市内の小・中学校では、授業の中で正しい鉛筆の持ち方を指導し、給食の時間に箸の持ち方も教えています。しかし、しつけの基本はやはり家庭です。家庭の中で指導をしていただけるように、今後も保護者に協力をお願いしていきます。

担当 学校教育課

### 好きな言葉 オッス!

気が入り、言った後すっきりするから



Joseph Tait  
ジョセフ・タイト  
(中央中学校勤務)

ニュージーランド出身  
狭山市のALTとして勤務して8年8か月  
趣味は沖縄空手とラグビー、スポーツ観戦

## A ssistant L anguage T eacher

“What is the weather like in New Zealand?” The answer to the question ; it depends on where in New Zealand you live. If you live in the very south then the weather is sub-Antarctic, in the very north the weather is Tropical. In Wellington which is in the middle of NZ the weather is very unpredictable. It can be fine in the morning, rainy and freezing at noon, late afternoon it’s fine and warm again. However, one feature Wellington is famous for is its wind.

There is ALWAYS a wind in Wellington. Sometimes it’s strong, sometimes it’s weak, but it’s always there. To us Wellingtonians it becomes a life long companion. To visiting tourists, sports team etc, it can be a curse. Before I came to Japan I had never experienced a breathless day in my life and I can still remember my first night in Japan without my friend Mr. Wind.

「ニュージーランドはどんな気候ですか?」とよく聞かれます。ニュージーランドの気候は、暮らす場所によって違います。南方は、南極に近い気候だし、北方は、亜熱帯の気候です。また、中部のウェリントンでは、天気は予報できません。午前中、晴れていたかと思えば、昼ごろには雨が降って凍えるような寒さになり、午後の遅い時間になると、また晴れて暖かくなることもあります。けれども、ウェリントンの有名な一つの特徴は風です。時には強く、時には弱く、いつも風があります。観光客や親善スポーツチームなどにとっては厄介ものですが、ウェリントン人にとって、風は人生の長い友達です。私はそれまで、風のない日を経験したことが一度もなかったのに、日本での最初の夜は、私の友達の風がいなかったことを今でも覚えています。

(英文の要約)